

美咲特別支援学校

令和4年度
第10号
(R5.3.14)

本紙は学校の取組や子ども達が頑張っている様子、キャリア教育関係を中心に掲載します。
発行：学校長 粟國静夫



ひまわり



美咲特支 HP

祝 卒業・修了 おめでとうございます。



高等部3年生の皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんは美咲高等部でいろいろな授業や行事、現場実習などで多くのことを学んだことと思います。そして、友だちや先輩などの仲間たちと過ごした3年間は宝物のような時間だったと思います。これから社会に巣立っていきます。社会に出たら新しい環境の中で多くの出会いがあります。どうぞ、美咲で学んだことをこれからの人生に活かして、美咲のキャッチフレーズ「きれいに咲こうよ、咲かそうよ」自分だけの、きれいな花を咲かせて下さい。

また、中学部3年生、小学部6年生の皆さんも卒業おめでとうございます。幼稚部の皆さんは修了おめでとうございます。皆さんは4月から1つ上の学部へ進学します。そこでは、新しい友達や勉強が待っています。いろいろなことにチャレンジして、できること、好きなことを増やしていきましょう。

【美咲特別支援学校 校長 粟國静夫】



行事の風景・授業の様子



☆特別支援学校駅伝競走大会(中・高等部)

2月3日(金)沖縄県総合運動公園において、第31回沖縄県特別支援学校駅伝競走大会がおこなわれました。

本校から中学部Aチーム、Bチームの選手、高等部Aチーム、Bチームの選手が参加しました。中学部は5つの区間8.2Kmを5人でタスキをつなぎました。また、高等部は7つの区間12.2Kmを7人でタスキをつなぎました。

どの選手も一生懸命、自分の力を出し切って、次の選手にタスキを渡していました。その姿に、応援の生徒や保護者、職員も大きな感動をもらいました。

大会の結果は中学部が見事！1位優勝を勝ち取りました。高等部も頑張って、Bブロック4位の好成績を挙げています。

みなさん、よくがんばりました！おつかれさま。



(後日談)

昨年の中3で現在、沖高特支1年生のじゅんた先輩が、中学部の後輩たちの所までやって来て、優勝の快挙に「よくやった！」と先輩として後輩たちへお褒めのことを伝えに来ていたそうです。先輩として後輩たちのがんばりがうれしかったのでしょう。



☆小学部6年「えいごであそぼう」

小学部の外国語活動の授業で「えいごであそぼう」と題して、ルナシー先生やALTのクリスタ先生と一緒に、英語の歌にあわせてダンスをして、英語に親しみました。



☆小学部校内マラソン大会

インフルエンザ蔓延のため延期となっていた幼小学部のマラソン大会が、2月17日(金)に行われました。天候にも恵まれ、子どもたちが自分の目標に向かって元気いっぱい走る姿が見られました。トリムの部では、制限時間内に目標周数を走ることを目指します。タイムアップの合図の後、ゴール目指して最後まで走りきる子どもたち、本当によく頑張っていました。レースの部では、5周と7周でタイムを競います。最後までデットヒートを繰り返しながら必死に走る姿に、たくましさを感じました。保護者の皆様、暑い中応援をありがとうございました。たくさん声援と拍手を受け、走りきった子どもたちの満足そうな笑顔を見ることができました。



【結果】レースの部

- (5周) 1位(4年)M・Jさん 2位(5年)K・Aさん
- 3位(4年)G・Hさん
- (7周) 1位(6年)O・Mさん 2位(6年)Y・Rさん
- 3位(6年)M・Aさん



☆高等部「LGBT講演会」

2月8日(水)に高等部生徒を対象に「LGBT講演会」を開催しました。講師にレインボーハートプロジェクトokinawa代表の竹内清文(きよさん)を招いて行われ、人間の「多様性」や性の「多様性」、集団における「心理的安全性」などについて、分かりやすくお話しがありました。本校でも来年度、「多様性」を尊重して中高等部の制服は選択制とします。



☆高等部「みさき市」

1月27日(金)に開催しました「第8回買ってくだ祭☆みさき市」に、多くの高等部保護者の皆さまがご来場いただき、ありがとうございました。また、生徒たちが1年間かけて作製しました多くの商品の販売学習へのご協力もありがとうございました。



☆高等部2年「いのちの授業」

この授業は「命の尊さ」「支えられ生かされている命」「命の喜ぶ生き方」について考え、自分の命や友達の命も大切し、心豊かに生きることの大切さを知ることを目的に、県立中部病院の長野宏昭医師（エンドオブライフ・ケア協会（ELC）沖縄）を講師に迎え、高等部2年生を対象に授業が行われました。



授業のタイトルは、「折れない心を育てるいのちの授業」。長野先生から生徒たちへ、皆さんはどんな苦しみ(悩み)がありますかと優しく語りかけていました。「自分の苦しみから他の苦しんでいる人へ思いをはせ、苦しんでいる人へ思いを寄せて、お互い支える心を育てる」授業であると感じました。

第60回沖縄教育版画コンクール

琉球新報社主催 第60回沖縄教育版画コンクールの審査結果が2月2日(木)の琉球新報に掲載されています。【Y・R「きいろいバスとぼく」】⇒



本校から特選が中1のY・Rさん、中2のT・Hさん、高3のY・Cさんの4名が選ばれました。優秀賞が小5のK・Sさん、中2のT・Tさんの2名が選ばれました。

みなさん、よくがんばったね。おめでとうございます！

令和4年度高等部3年生進路状況

今年度は、57名(本校48名、センター分教室9名)の生徒が3月15日に本校を卒業します。例えば・・・今年度の卒業生は、3年前の入学式から、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、臨時休校や分散登校など、これまで経験したことの無い学校生活を過ごしてきました。そんな中でも、卒業後の次のステージに向け準備を一步一步、着実に進めることができました。(令和5年2月24日現在：見込みの事業所も含まれています)

Table with 4 columns: 企業, 福祉サービス事業所, 進学, その他. Rows include counts for general employment, welfare services, university, and other categories.

これも偏に保護者の方々、実習を受け入れていただいた事業所や関係支援機関など、3年間ご支援をいただいたおかげと感謝しております。ありがとうございます。卒業後は、地域の就労支援機関が中心となって支援を行うこととなります。また、本校でも、進路先にかかわらず定着支援を3年間行います。特に卒業後1年間は、進路先を訪問したり、場合によっては各ご家庭へ電話で連絡をしたりします。そのときは、近況を聞かせてくださいね。もし困りごとなどがある場合は、一人で悩まず、まず学校(進路部)までご連絡ください。解決に向けて一緒に考えていきます。よろしくお願ひします。

さて、1・2年生の皆さん、もう既に卒業に向けた取り組みは始まっています。1日1日を大切に、残された1年間、2年間を過ごしていきましょうね。

副校長講話「就職をめざす君たちへ」

進路指導部企画で2月15日午後、高等部3年生の就職希望者21名とその保護者、学級担任に就職の心構えと就職した後の話をしました。

内容は、自立とは？仕事のスキルとは？仕事を辞める三大理由！仕事を辞めたくになったら!?仕事を長く続けるコツ、仕事をするのが「幸せ」



につながる話など、ロールプレイを取り入れ、語りあり、笑いあり、驚きあり、昔の教え子の思い出話あり、掛け合いありの50分間でした。ホントは40分の予定でしたが、、、生徒たち全員メモと筆記用具を準備し、大切なことをしっかり記録とってました。また、保護者や学級担任も熱心に聞き入り、これから就職をめざす子らの応援団として、気を引き締めていました。

その後、県就労支援コーディネーターの翁長克さん(トータルサポート商会代表)が登壇し、就職や離職、仕事上のトラブルなどの実例を挙げながら、些細なことでも困ったら家族で話し合い、先ず学校に電話。早ければ早いほど、円満な解決に結びつくことを強調して熱いまま講話を終えました。就職希望者皆が内定とれますように！

【美咲特別支援学校 副校長 稲田洋一】

美咲青年教室の活動紹介

2月19日(日)に青年教室の令和4年度閉級式がありました。



私の一冊

【職員のお薦めの本、参考にしている本などを紹介！】

『魔女のともだちになりませんか？』



作：村山 早紀 絵：ふりや かよこ (文：図書館司書 山城 茜)

この本は、魔女の子ルルーが人間の家族と関わっていく中で、思い悩みながら成長していくファンタジー児童文学です。ふりやかよこさんの優しい雰囲気絵も素敵です。

私がこの本と出会ったのは、小学校6年生の時。移動図書館のお兄さんに勧められたのがきっかけでした。

当時の私は同じ本(寺村輝夫のこまったさん・わかったさん)ばかり読む傾向にあり、読んだことのない本を読むことに少し抵抗がありました。ですが、せっかとお勧めしてもらったし・・・『魔女のともだちになりませんか？』を読んでみるととてもおもしろくて、あっという間に読み終えてしまいました。それが嬉しくて、別の本を教えてほしいとお願いすると、まずは同じ作者の本を読んでみることを勧められて、村山早紀の本を片っ端から読みました。

それからは、読んだことのない本への抵抗がなくなり、新しい物語を読むことの楽しさを知り、どんどん読書にのめり込んで行きました。

気になる本はまず手にとって、おもしろいと思ったらその著者の別の本も読んでみる。私の読書傾向の根っこになり、読書の幅を広げるきっかけにもなった、思い出の本です。

【お知らせ】 この学校だよりは、教育センター分教室のオフィス・アシスタント班の生徒たちが、印刷と配付作業を担当しています。